

こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2020年4月②号

せっかくの助成制度も利用しにくい…！

雇用調整助成金 驚くべき支給状況→ 2件全国で

新型コロナウイルス感染による影響で休業した場合に、労働者に対して、普段の有給休暇ではなく、特別休暇（有給）で休んだ場合、国から事業者へ助成される制度ですが、手続きに手間がかかること、対応職員が少ないなどで、全国でたった2件しか支給されていない状況です。職員体制を改善することや、手続きを簡便にするように要望しています。

学校等休業補償制度も

学校や保育園、学童に通う子どもが要請に応じて学校、保育園等を休む場合、子どもの世話のために、従業員が休んだ場合は、パート職員やフリーランスや自営業者も対象となりますが、これも、申請が進んでいません。全国でなんと12件の助成状況（4月14日）。相談に乗っている労働相談員が、この制度のことを進めようとすると、事業者から嫌がられるかもしれないとまで、言われたなど、おかしなことになっています。

新たな助成制度も使いやすいように！

30万円の補助金支給へ提案がある中で、期待の声は上がっていますが、今！いつ?!という相談も寄せられています。なるべく、早く、困っている方に手が届く制度にすべきです。



自粛だけを要請するのではなく、補償もセットで進めてこそ、感染予防対策となります。

日本共産党市会議員団は輪番で電話相談を行っています。ご連絡ください。

電話：075-222-3728

大変な時だからこそ、

みんなで励まし合い乗り切りましょう！

医療現場や介護現場、保育園などの福祉現場では、自らの感染予防は元より、利用者市民の感染予防に最善をつくしておられます。しかし、感染してしまった場合は、休診が余儀なくされ、たちまち患者さんや利用者さんが窮地に追い込まれます。世界的には医療従事者の皆さんを感謝と共に激励をする取り組みがされています。日本でも、陽性者になった方、その家族、周辺の方々を迷惑がったりせず、励まし、一緒に乗り切るメッセージを広げていけたらと思っています。

つぶやき:コロナウイルス感染予防としての応援歌:星野源さん

シンガーソングライターの星野源さんが「うちで踊ろう」という曲を作り、ネットで配信したところ、ピアノや歌、踊りで、女優やアーティストがコラボレーションされて反響を呼んでいます。外出を控え、家で自粛している人にとって、嬉しいSNS発信だと思います。しかし、安倍首相がコラボするというよりも、星野源の歌をバックに、ただただくつろぐ様子をアップしたことには、賛否両論で波紋を呼んでいます。安倍さんも人間ですから、休養も必要でしょうけど、あ



えてSNSなどで発信する必要はないと思います。国民にしてみたら、廃業の危機にある方や、家賃が払えない、仕事がないという状況で、首相のくつろぐ姿には、憤りを感じるのは当然だと思います。

アンテナ

イベントは中止か延期に

地域のお祭りや自治会の会議、消防団の査閲、大学の入学式、結婚式など、次々連絡が入ります。

我が家のメインイベントの次女の結婚式も、5月の新緑の季節にやりたいと早くから準備をしていましたが、断念し、8月に延期としました。8月に新型コロナウイルスの感染状態が収束していることを願うばかりです。

側で、結婚の準備に向けて取り組んでいた娘の状況を見ていただけに、この時期にたまたま結婚する人は皆さん大変だろうなと思いをはせます。



先日、松本北区长さんが退職され、新しく来られた武田新北区長さん、新しいさつに行きましたが、長としてあいさつする北区ふれあいまつりや北区消防団査閲などの行事がことごとくなくなっているのが、北区の皆さんにあいさつする機会がないとおっしゃっていました。

